

## 1部：真の隣人への愛（ルカ 10:25-37）

最高の戒め「神を愛し、隣人を愛する」ことはどういうことなのか。私たちが持っている「愛」のイメージとはどう違うのか。

1. 人間の靈的破産の状態を知る時、真の隣人への愛は始まる。

- 1) ローマ 3:9-18、23、ヨハネ 8:44、エペソ 2:3
- 2) うわべによる人間の評価(境界線崩壊)
- 3) すべての人が隣人(誰が隣人ですか？？？)
- 4) すべての人に救いの恵みが必要(ガラテヤ 3:28)

2. 真の隣人への愛は、靈的破産者への唯一の答えキリストを与えることである。

- 1) 神様の愛(ヨハネ 3:16)-サンプル
- 2) ペテロの愛-使徒 3:6、パウロの愛-ピリピ 1:18
- 3) 魂の救いの為の伝道と宣教
- 4) 魂の救い(伝道、宣教)を軸にする調節と導き、姿勢

この世には、救いが必要な人間、救いを味わうべき人間、救いを伝えるべき人間の3種類の人間しかいないことを心に留めよう！

真の隣人への愛はクリスチャンだけに可能な特権と感謝し、マタイ 6:33、使徒 1:7-8 を握って祈ろう！

## 2部なぜ人は幸せでないのでしょうか (ローマ 3:23)

幸せであるべき人間が幸せになれず、苦しみの中にいる理由は何でしょうか。ある人は家庭の問題で、ある人は健康の問題、又経済や精神的な問題などで苦しんでいます。そして幸せになれないから酒やギャンブル、快樂などに走ってみますが、解放されずより不幸に陥ってしまいます。どうすれば良いでしょうか。

1. 人々は誤った考え方をしています。
  - 1) 条件が悪いから
  - 2) 環境に恵まれてないから
  - 3) 状況が不利だからだとつぶやいています
2. 本当は人が神様を離れているから不幸なのです。
  - 1) 人は、元々神のかたちに造られた(創世記 1:27)のに
  - 2) 神様に罪を犯して(ローマ 3:23)  
神様から離れてしまい
  - 3) その時から、まるで魚が水を離れた時のように、あらゆる苦しみがやってきました。
3. そしてこの不幸はアダムの時に始まり、今に至って、これからもずっと続き、なくなることはありません。なぜなら人間にこの不幸をもたらす存在がいるからです。
  - 1) 天において墮落した天使(エゼキエル 28:14-19)が追い出されて

悪魔(サタン)となり、もろもろの悪霊を連れて人間のところにやって来ては人間を滅ぼし(創世記 3:1-5) 結局、空中の権威を握り(エペソ 2

- 2) 世を支配しダメにしているからです。7) 最後は地獄行きになります(ルカ 16:19-32)

4. なので誰でも神様を知らないと

- 1) 根本的には悪魔に属して(ヨハネ 8:44)
- 2) 原因不明の力にさいなまれ(使徒 10:38)
- 3) 真の幸せはなく(マタイ 12:25-28)
- 4) 真の安らぎもなく(マタイ 11:28)

5. 人の幸せは、人が神様と出会う時に与えられるもので、世にあるどんなものも一時的な穴埋めに過ぎなく、結局より深い不幸と虚しさをもたらすだけです。

1部-ルカ 10:25-37 真の隣人への愛なるほど/

人間の靈的破産状態がわかる時から真の隣人への愛は始まり、その靈的破産の人に唯一の答えキリストを分け与えることこそ真の隣人への愛である。ならば/

人は「救いが必要な人、救いを味わうべき人、救いを伝えるべき人」の3種類しかいないことを覚えて、クリスチヤンのみに可能な隣人への愛、伝道と宣教の契約を握って祈ろう！

2部-ローマ 3:23 なぜ人は幸せでないのでしょうか  
なるほど/

多くの人は、自分の不幸を何かのせいにするけど、人が幸せでないのは神様を離れた根本問題で、サタンによる靈的問題なので、絶対解決不可能であり、神様に会うことこそ真の幸せであり、キリストがその道である。

ならば/

不幸に対する今までの考え方改めて、本当の原因を認めて、神様と出会う道であるキリストを心に受け入れよう！